

捨貼り工法専用フロア

カナエル R6

R-Design

C-Design

施工のポイント

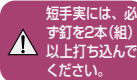
※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

施工にあたっての注意

●本フロアは、**捨貼り工法専用**です。根太への直接施工はできません。

	使用できる下地材	・在来工法：合板12mm厚以上 ・根太レス工法：構造用合板24mm厚以上 (メーターモジュールは構造用合板28mm厚以上) ・乾式二重床工法：パーティクルボード+合板12mm厚以上
	使用できない下地材	・根太直接 ・コンクリートころばし根太(合板捨貼り工法でも不可) ・乾式二重床工法：パーティクルボード直接 ・その他

●施工は、必ず以下に記す接着剤／釘のいずれかを使用してください。

	品 目	使用量
接着剤	【ウレタン系】 ノダフロア用接着剤：FP-806 コニシ株式会社：KU-928C-X オート化学工業株式会社：オートンアドバンス 8500 アイカ工業株式会社：JW-400シリーズ	接着剤の太さ：直径6mm以上 【使用量の目安】 合板下地：330g/m ²
	【変成シリコン系】 コニシ株式会社：床美人(PX280C-X)	
釘	頭付きフィッシュネイル ステープル	長手：303mmピッチ以下 7本(組)以上／6尺 短手：2本(組)以上／1尺 
	長さ20mm以上 長さ20mm以上／肩幅4mm	

●フロアの開梱は施工直前に行ってください。開梱後12時間以上放置すると寸法安定性を損ないます。

●フロアと壁(壁がない場合は柱／間柱)は**3～5mm程度**のすき間を設けて、巾木をフロアの上にかぶせてください。

●かぶせ量の少ないソフト巾木は使用しないでください。

●10m以上の長いスパンで施工する場合は、かぶせタイプの床見切りを設け、0.3mm程度の目透かし施工をしてください。

●施工前に必ず仮並べをして、色柄の調和を見てください。極端に色／柄／品質上の問題がある場合、お知らせください。(施工後における苦情／お取替えについては応じかねます)

●雨や雪を含む水がかかる場所／湿気の多い場所には施工しないでください。

●室温が**5℃以下**の場合、施工しないでください。接着剤の硬化不良が生じます。

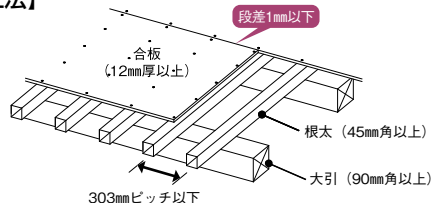
下地施工

●合板の継ぎ目部分の段差がないよう(1mm以下)に調整してください。
●合板の短手継ぎ目部分は必ず根太／大引上で行い2mm程度のすき間を設けてください。

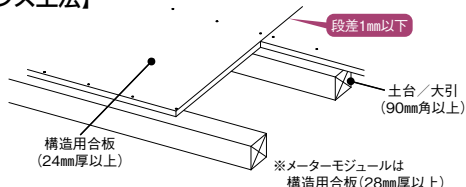
●合板／根太および大引の固定にはウレタン系接着剤を塗布し、スクリューネイルまたは木ネジを303mmピッチ以下で頭が出ないように打ち込んでください。

●スクリューネイル／木ネジの長さは合板厚さの2.5倍以上、根太の場合は2倍以上としてください。

【在来工法】



【根太レス工法】



- 大引／根太／合板は乾燥したものをご使用ください。
(大引／根太の含水率：15%以下、合板の含水率：14%以下にしてください。)
- 下地材が濡れないよう充分ご配慮ください。
- ピアノ等の重量物を置く場所の場合には、根太本数を増やす等下地補強をしてください。
- 根太組した面に段差がないことを確認してください。また段違いを防ぐため根太は両面プレナー掛けしたものをご使用ください。

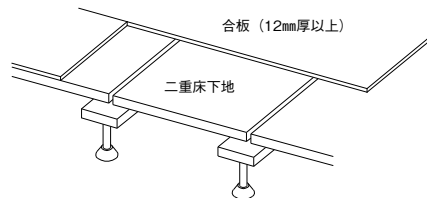
■二重床下地の場合

●二重床下地の施工は二重床メーカーの施工説明書に必ず従ってください。

●下地材の継ぎ目部分の段差がないように調整してください。また下地材の継ぎ目部分はすき間を一定に空けてください。すき間は下地材料により幅が異なります。

●壁際は、際根太等に必ず下地材をしっかりと固定してください。

●二重床下地で施工する際は**12mm厚以上**の合板を捨貼りしてください。



- パーティクルボード直接には施工できません。



- 下地モルタルは**最低3週間以上**の乾燥期間をとり、含水率を**10%以下**にしてください。
【乾燥の目安】
最も乾燥しにくい部分の下地表面に、1m×1m程度のポリシートの四周を布テープ(ガムテープ)止めにより被覆密閉し、24時間以上放置後、シート下のモルタル面が黒く変色しないことを確認してください。

フロア施工

接着剤塗布位置、釘固定箇所については**施工ポイント**を参照の上、施工してください。

●床下地の継ぎ目とフロアの継ぎ目が**100mm以上**ずれるように割付けしてください。

●床下地の表面ゴミ／ホコリ等をきれいに清掃してください。

●フロアは無理に叩き込んだり蹴り入れしないでください。

養生

施工後は、工事完了まで以下に留意して養生してください。

●表面にキズ／目隙／浮きがないことを確認してください。

●工事完了までフロア用養生シート等により壁際まですき間なく敷き、表面を充分に保護してください。

●必ず、床用養生テープを使用してください。

●凹凸のある硬質の養生ボードは使用しないでください。

●雨水等が養生シートにしみ込まないようにしてください。

●下地材やフロア等に結露等が生じないようにしてください。

●養生中、室内の換気は充分に行ってください。

製品掲載ページ

102

捨貼り工法専用フロア

カナエル R6

R-Design

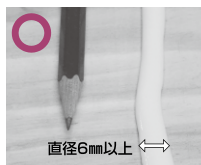
C-Design

施工のポイント

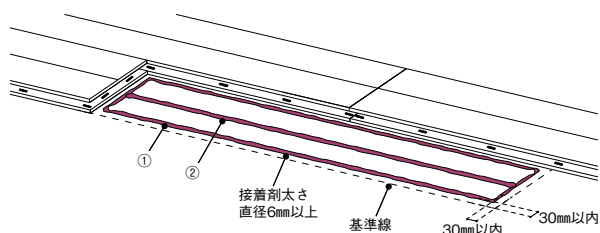
※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

施工ポイント ① 指定接着剤を指定位置に塗布

- ✓ 接着剤は、必ず指定のものをご使用ください
(『施工にあたっての注意』参照)。
- ✓ 接着剤は、直径6mm以上を塗布してください。



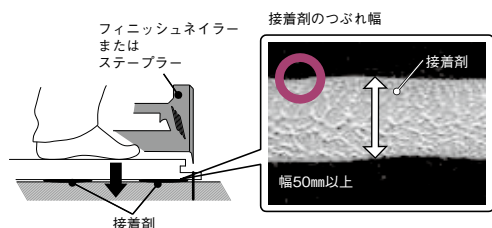
- ① 隣のフロアから30mm以内に口の字に塗布
- ② 長手方向中央に1本塗布



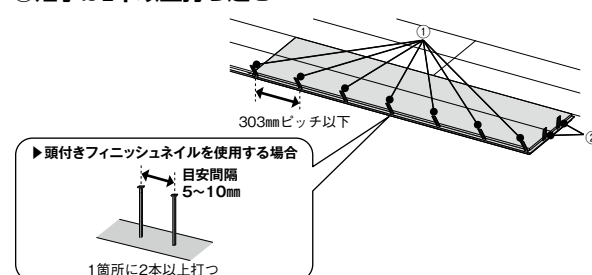
施工ポイント ② 頭付きフィニッシュネイルまたはステープルを使用

- ✓ 指定の頭付きフィニッシュネイルまたはステープルを使用してください(長さ20mm以上)。
- ✓ 接着剤が広がるよう、足でフロアに加重を加えながら打ち込んでください。
- ✓ 頭付きフィニッシュネイルを使用する場合、1カ所に2本ずつ、5～10mm間隔で打ち込んでください。
- ✓ 接着剤がフロア表面に付いたり、かん合部からはみだした場合、乾いた布で速やかに拭き取ってください。硬化すると取れません。
- ✓ 貼始め/貼じまいの壁際部のフロアは接着剤が硬化するまで、フロアと壁のすき間にクサビを打ったり、カクシ釘を打つなどしてフロアの浮きを防いでください。

- ⚠ ●「千鳥貼り」または「レンガ貼り」とし、平行貼りは行わないでください。
- フィニッシュネイラーまたはステープラーのエア圧は、あらかじめ試し打ちを行い、釘頭の出過ぎ/沈み過ぎがないよう強さを調整してください。

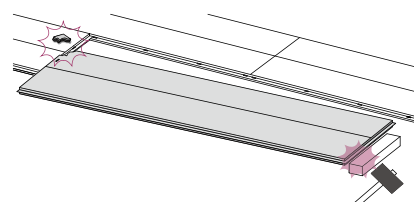


- ① 長手は303mmピッチ以下で7本以上打ち込む
- ② 短手は2本以上打ち込む



▶ステープルを使用する場合

釘頭が出過ぎたり、釘がめり込み過ぎないように、釘打ち機の圧力を調整してください。釘がめり込み過ぎると、フロアの浮き/反りの原因となります。



- ⚠ ●かん合時は、フロアの角が当たらないよう留意してください。角が当たった状態でかん合すると角破損のおそれがあります。

- ⚠ ●施工中は、充分に換気を行ってください。
- 接着剤塗布後、15分以内にフロアの貼付けおよび釘打ちを終えてください。

木質床材

一般住宅

マンション

直貼り

リフォーム

向け

衝撃吸収

床材

天然木

フロア

化粧シート

フロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・

室内はしご

内壁材

あかり

サポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用

ハイベストウツ

P&C-MJ

SYSTEM

設計・施工

資料編

製品掲載

ページ